

1 1から5までの数字を1つずつ書いた5枚のカードが箱に入っている。箱の中から1枚のカードを取り出してもとに戻すことを n 回続けて行う。 k 回目に取り出したカードの数字を a_k とし、 $\sum_{k=1}^n a_k$ が偶数である確率を p_n とする。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) p_1, p_2 を求めよ。
- (2) p_{n+1} を p_n を用いて表せ。
- (3) p_n を求めよ。

(島根大学 2016)

2 i を虚数単位とし, $z = \cos \frac{2\pi}{5} + i \sin \frac{2\pi}{5}$ とおく. 次の問いに答えよ.

- (1) z^5 および $z^4 + z^3 + z^2 + z + 1$ の値を求めよ.
- (2) $t = z + \frac{1}{z}$ とおく. $t^2 + t$ の値を求めよ.
- (3) $\cos \frac{2\pi}{5}$ の値を求めよ.
- (4) 半径 1 の円に内接する正五角形の 1 辺の長さの 2 乗を求めよ.

(琉球大学 2016)



2016年教育・生物資源科学部 第1問

1 1から5までの数字を1つずつ書いた5枚のカードが箱に入っている。箱の中から1枚のカードを取り出してもとに戻すことを n 回続けて行う。 k 回目に取り出したカードの数字を a_k とし、 $\sum_{k=1}^n a_k$ が偶数である確率を p_n とする。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) p_1, p_2 を求めよ。
 (2) p_{n+1} を p_n を用いて表せ。
 (3) p_n を求めよ。

(1) p_1 は a_1 が偶数である確率であるから、 $p_1 = \frac{2}{5}$ ”
 p_2 は a_1 と a_2 の偶奇が一致する確率であるから、 $p_2 = \left(\frac{2}{5}\right)^2 + \left(\frac{3}{5}\right)^2 = \frac{13}{25}$ ”

(2) $\sum_{k=1}^{n+1} a_k$ が偶数となるのは次の2つの場合である

• $\sum_{k=1}^n a_k$ が偶数で、 a_{n+1} が偶数の場合
 p_n $\frac{2}{5}$

• $\sum_{k=1}^n a_k$ が奇数で、 a_{n+1} が奇数の場合
 $1 - p_n$ $\frac{3}{5}$

よって、 $p_{n+1} = \frac{2}{5} \cdot p_n + \frac{3}{5} (1 - p_n)$

$$a = -\frac{1}{5}a + \frac{3}{5}$$

$$\therefore p_{n+1} = -\frac{1}{5}p_n + \frac{3}{5} ”$$

$$\therefore a = \frac{1}{2}$$

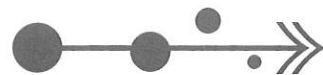
(3) $p_{n+1} - \frac{1}{2} = -\frac{1}{5}(p_n - \frac{1}{2})$

∴ 数列 $\{p_n - \frac{1}{2}\}$ は初項 $p_1 - \frac{1}{2} = -\frac{1}{10}$ 、公比 $-\frac{1}{5}$ の等比数列

$$\therefore p_n - \frac{1}{2} = -\frac{1}{10} \left(-\frac{1}{5}\right)^{n-1}$$

$$= \frac{1}{2} \left(-\frac{1}{5}\right)^n$$

$$\therefore p_n = \frac{1}{2} \left\{ 1 + \left(-\frac{1}{5}\right)^n \right\} ”$$



2016年理系第1問

 数
理
石
井

 1 i を虚数単位とし, $z = \cos \frac{2\pi}{5} + i \sin \frac{2\pi}{5}$ とおく. 次の問いに答えよ.

- (1) z^5 および $z^4 + z^3 + z^2 + z + 1$ の値を求めよ.
 (2) $t = z + \frac{1}{z}$ とおく. $t^2 + t$ の値を求めよ.
 (3) $\cos \frac{2\pi}{5}$ の値を求めよ.
 (4) 半径1の円に内接する正五角形の1辺の長さの2乗を求めよ.

(1) ド・モアブルの定理より.

$$\begin{aligned} z^5 &= \left(\cos \frac{2\pi}{5} + i \sin \frac{2\pi}{5} \right)^5 \\ &= \cos 2\pi + i \sin 2\pi \\ &= 1 \end{aligned}$$

$$\therefore z^5 - 1 = 0 \text{ より, } (z-1)(z^4 + z^3 + z^2 + z + 1) = 0$$

$$z \neq 1 \text{ より, } \underline{z^4 + z^3 + z^2 + z + 1 = 0}$$

(2) $z^4 + z^3 + z^2 + z + 1 = 0$ の両辺を z^2 ($\neq 0$) で割って,

$$z^2 + z + 1 + \frac{1}{z} + \frac{1}{z^2} = 0$$

$$\therefore \left(z + \frac{1}{z} \right)^2 - 2 + 1 + \left(z + \frac{1}{z} \right) = 0$$

$$\therefore \underline{t^2 + t = 1}$$

(3) $t^2 + t - 1 = 0$ より. $t = \frac{-1 \pm \sqrt{5}}{2}$... ①また, $t = z + \frac{1}{z}$ より,

$$\begin{aligned} t &= \cos \frac{2\pi}{5} + i \sin \frac{2\pi}{5} + \cos \frac{2\pi}{5} - i \sin \frac{2\pi}{5} \\ &= 2 \cos \frac{2\pi}{5} \quad \dots \text{②} \end{aligned}$$

$$0 < \frac{2\pi}{5} < \frac{\pi}{2} \text{ より, } \cos \frac{2\pi}{5} > 0 \quad \therefore \text{①, ②より, } 2 \cos \frac{2\pi}{5} = \frac{-1 + \sqrt{5}}{2} \quad \therefore \underline{\cos \frac{2\pi}{5} = \frac{-1 + \sqrt{5}}{4}}$$

(4) 一辺の長さを l とすると余弦定理より.

$$\begin{aligned} l^2 &= 1^2 + 1^2 - 2 \cdot 1 \cdot 1 \cdot \cos \frac{2\pi}{5} \\ &= \underline{\frac{5 - \sqrt{5}}{2}} \end{aligned}$$

